

令和2年度

当初予算の概要

【問い合わせ先】 財政課 (☎ 82-1131)



令和2年度 各会計予算額

山陽小野田市の令和2年度の予算が決まりましたので、お知らせします。

一般会計予算額は、前年度比2.0%減の296億5,100万円となりました。また、特別会計と公営企業会計を加えた予算総額は、7.2%増の724億4,772万9千円となりました。

会計名		令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減率
一 般 会 計		296億5,100万円	302億5,100万円	△2.0%
特別会計	駐 車 場 事 業	4,104万5千円	2,400万8千円	71.0%
	国 民 健 康 保 険	74億6,461万円	75億2,696万4千円	△0.8%
	介 護 保 険	66億8,265万8千円	64億9,969万5千円	2.8%
	後 期 高 齢 者 医 療	11億4,575万5千円	10億5,785万4千円	8.3%
	地方卸売市場事業	1,034万5千円	1,114万9千円	△7.2%
	小型自動車競走事業	152億9,802万7千円	103億6,395万6千円	47.6%
	特別会計の計	306億4,244万円	254億8,362万6千円	20.2%
公営企業会計	水 道 事 業	25億4,785万6千円	23億2,775万2千円	9.5%
	工業用水道事業	3億803万8千円	2億6,672万4千円	15.5%
	病 院 事 業	50億1,114万2千円	50億1,875万5千円	△0.2%
	下 水 道 事 業	42億8,725万3千円	42億889万円	1.9%
	公営企業会計の計	121億5,428万9千円	118億2,212万1千円	2.8%
総 予 算 額		724億4,772万9千円	675億5,674万7千円	7.2%

■予算編成の基本的な考え方

本市の財政状況は、市税において、一部の税目に増加が見られるものの、労働力人口の減少や人口規模の縮小などに伴い減少が見込まれます。また、消費税率の引き上げに伴う地方消費税交付金の増加はありますが、税制改正等の影響もあり、市税を含めた一般財源総額は減少する傾向にあります。

一方、歳出においては、社会福祉や児童福祉における扶助費や、高齢化の進展に伴う社会保障関連経費のほか、公共施設の維持・更新経費などの増加に加え、大型建設事業の実施等に伴う公債費の増加があることから、今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれます。

このため、積極的な財源確保に取り組むほか、事業の「選択と集中」を徹底し、限られた

財源を最大限に活用することに努めました。

令和2年度は、第二次山陽小野田市総合計画の3年目として「前期基本計画の集大成の年」と位置付け、三つの「重点プロジェクト」や地方創生推進事業の取り組みについては、さらに進めるほか、スマイルエイジングの取り組みについても、実践の一步を踏み出すこととしております。また、引き続き、市民生活の安心・安全のための防災・減災対策や、教育・保育施設整備事業などに取り組むほか、LABV手法をはじめとする官民連携事業の推進などにも取り組んでまいります。

依然として厳しい財政状況にありますが、効率的で効果的な予算執行に努めてまいります。